

東京亀城会々報

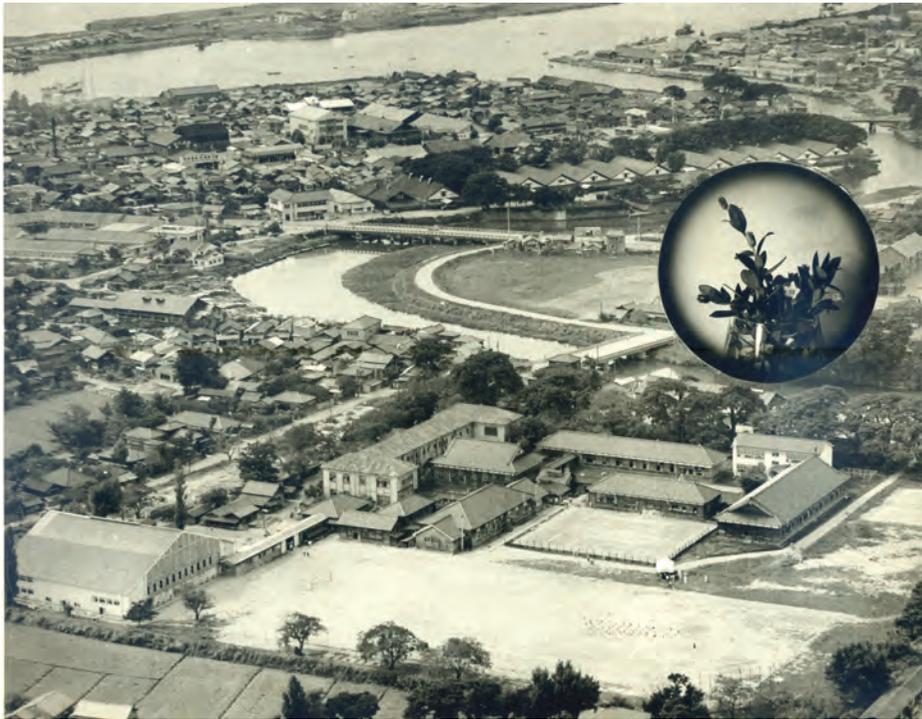
第34号
発行
平成26年5月20日



最上の流れにうるほふ里の
学び舎みどりの希望はみちて
明るしや 清けしや
我らの園 我らの門
あしたに夕べに集ふ
手を引き助けて円かに睦みて
愛あり仁ある人とならん



ああ見よ鳥海七千餘尺
虚空に聳ゆる巨人の姿
黙示に学びてわれらの健児
六百並んで高きに向ふ



【上空から見た酒田東高校舎と、鳥海ふすま（1964年39回卒業アルバムより）】

平成26年度 東京亀城会 総会・懇親会

- ◎日 時 6月28日(土) 13時より
- ◎会 場 大手町サンケイブラザ(3Fホール)
- ◎担当年次 39回、49回、59回卒業

会長・同窓会長ご挨拶・母校報告

東京亀城会総会に向けて



東京亀城会会長
相川 俊明
(33回)

会員の皆様、東京亀城会に対する日頃のご支援に心から感謝申し上げます。さて、早いもので、会長になって六年目の総会を迎えます。母校とは不思議なもので、歳とともに、また身近な存在になってきます。卒業生の親睦の場として脈々と引継がれてきたこの絆をこれからも大切にしていきたいと思っておりますので、皆様の多数のご参加を願います。校歌を歌って青春を共有しましょう。

また、来年は東京亀城会創立から五〇周年という節目を迎えますので、新たな決意を込めて五〇周年記念を兼ねた総会の開催を企画しています。現在行っている母校支援活動と共に、会員の皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健勝を祈念申し上げます。

頑張る酒東生



亀城同窓会会長
山岸 文章
(41回)

東京亀城会の皆様には、いつも亀城同窓会へのご協力と、母校支援活動として、上京した学生に対して特段のご配慮を賜り厚く感謝申し上げます。

母校は新たな高梨校長先生をお迎えし、「酒東丸」が出航しました。校長を先頭に教職員一丸となり、各々の目的地への寄港を見守りたいものです。

後輩諸君は学習・部活動・学校行事に目を輝かせて頑張っており、頼もしく思っています。二月には柔道大会とダンス発表会が行われ、柔道大会では女子から声援を受け必死に対戦する姿が何事にも頑張る酒東生そのもので嬉しく思いました。県内で柔道大会を実施しているのは本校だけで、いつまでも継続して欲しいものです。

最後に東京亀城会の益々の発展と会員各位のご健勝を祈念し、創立百周年記念事業への更なるご協力をお願い申し上げます。

メイク・リジエンド



酒田東高校長
高梨 博実

この春、山形県立博物館長を経て、酒田東高等学校長を拝命いたしました。酒田勤務は初めてで、分からないことばかりですが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。また、東京亀城会の皆様には、本校の教育活動並びに東京在任の本校卒業生に対し絶大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

赴任してまだ数日ですが、校内がきれいで、生徒の挨拶が明るく爽やか、教師集団が若々しく情熱と行動力に溢れているなど…。既に、酒田の街と酒田東高校が、大好きになっていきます。

私の進学指導の経験（教育行政、山形東、山形西、鶴岡南、鶴岡北、新庄南）の全てを注げる学校だと嬉しく思っています。酒田東高校の進学指導における今年度のキーワードは、メイクリジエンド（酒田東の偉大な歴史に、新たな伝説をつくる）です。

今後とも、より一層のご支援をお願い申し上げます。

28回

陰で支える竹馬の会

佐藤 崇

恒例の東京二八会は、三月末日アルカディア市ヶ谷で三〇数名の参加を得て開催。残念ながら、原稿応募締め切り後の開催のため、今回は、陰に陽に東京二八会を支えている「竹馬の会」のことを記してみたい。

当会は元来、酒田の日和山界隈で子供の頃からの遊び仲間が結成したものの。その後平成一五年の酒東卒業五〇周年記念総会の折、梓を広げ、有志で飛鳥観光に訪れた。飛鳥ではまさに抱腹絶倒の楽しい二日間で、この時の感激が忘れられず、その後、散策会として再編成し、数繁く開催するようになった。

現会員は酒田東高校を中心に鶴岡工業高校卒を含め一四名。折に触れ、利尻・礼文島、木曾路などへの旅にも出掛けており、上京する知人、友人の案内にはいつでも対応できる



も対応できるノウハウを蓄積している。会の趣旨は、歩くことによる健康の維持増進。名所旧跡を尋ね、歴史を学ぶこと。さらには会員同士の意思疎通を図ることにより、八〇回に及ぶ定例散

策行事以外でも、誰からともなく声が掛かり、一献傾け合う機会も多い。このため、会員同士の意思疎通は極めて良く、最近では、側面的に東京二八会の維持・存続にも大きな貢献を果たしている。今後とも竹馬の会は、一〇〇回目に向けて歩み続けるのである。

29回

益益元気な東京ふくの会

富樫弘喜

五月一日(土)やや少な目の五五名で、定宿となったNHK青山荘にて総会を開催。恒例の酒田からの土産は「木村屋銘菓古鏡」。酒田三名、盛岡・郡山、鈴鹿各一名の常連さんの参加で賑わいました。料理は早々に消化され、酒類・デザートも完食し、残った時間は歓談に華が咲きました。

「歩こう会」八月の鶴巻温泉もスッカリ定番になり、囲碁や手芸を楽しんだり、時事放談も盛です。今年は六月に一〇〇回記念を迎え、只今特別イベントを模索しております。



「コーラスふくのかい」本間充君の指導のもと、東京亀城会懇親会での発表が決まり只今猛練習中。同窓会への応援も忘れず元気で七八歳を謳歌している東京ふくの会です。

31回

喜寿まだまだ「意気軒昂」

眞田守之

卒業して五九年になる。今年も、横浜みなとみらいに聳える白亜の殿堂、ホテル・インターコンチに酒東三一会は集まった。丁度数え年の「喜寿」を迎えるお祝いを兼ねての集いになった。広いホテルのロビーを行き来する多くの若い人達、その間を縫って駆け寄る会員を迎える時、私は無性に懐かしさと「来てくれたなあ」という童心の喜びを感じる。

喜寿という節目であり、残された人生に向けての「夢」を、いや大きい夢では荷が重い、「小さい夢」を語ろう、例え小さくてもそれを抱けば「前」を向いて進む事が出来るのだからーと思ったが、地上三三階から望む横浜港、更に広がる太平洋に視線を伸ばしながら語る夢は未だに大きく、我々の住むこの国、それを包む世界に心を馳せた話で大いに弾んだ。まだまだ「意気軒昂」そのものだと思心した。



桜が芽吹く三月、「仰げば尊し」「蜜の光」のメロディを耳にする。この年になっても、とても懐かしく感じ、決して廃れる事のない「名曲」を歌って卒業する事ができた自分達を心から幸せと思う。

33回

東京燦々会開催

小林一夫



一月一日一昨年と同じ会場の「新宿京王プラザホテル」四七階眺望豊かな「あおぞら」で開催されました。直前の急な欠席もあり、例年よりかなり少ない三四名の参加でした。今回は外部にアトラクションはお願いせず自前でと、希望者の「人生訓」、「思い出話」に耳を傾け、また練習の成果の「ダンス」に見入りました。その後は何人かの自慢の喉がカラオケで披露されて盛り上がり、時間の経つのも忘れていたうち予定の時刻。校歌、応援歌を歌い母校を懐かしみ、高校生活の思い出に浸り、次回また健康な姿での再会を誓い、散会しました。

34回

互いの安否を確かめて

藤井 斉



昨年の「旅行」は、「小江戸・大江戸の旅」で、一〇月二八〜三〇日に行われました。初日は小江戸。埼玉県は川越の蔵の街や時の鐘など昔懐かしい香りを楽しみ、江戸時代の寺院、喜多院を訪ね、歴史の重みを体感しました。翌日は大江戸。まずはおばあちゃん原宿、巣鴨に。そこはソメイヨシノの発祥の地でもありました。その後は、スカイツリー、浜離宮、新装となった東京駅とその周辺を訪ね、東京の今昔を実感した旅でした。二回の宴会も忘れることのできない、互いの人生に触れる時でした。

参加者は延べ三〇人余。しかし近況を寄せたのはその三倍で、元気な近況を寄せてくれました。今年八月の酒田の花火を楽しむ旅、今から待ち遠しいことです。

35回

「珊瑚の会」新年会

加藤康夫



今年も新年の第三土曜日に相馬且さんのお店銀座「おぼこ」に三〇名が集った。最初にペンネームさくら俊太郎で「司馬遼太郎の置き手紙」などの著作のある桜井俊彦さんへ黙祷を捧げた。合掌。

新年会は多くの趣向ありで、銀行マシだった本間国義さんの「易经」を友にした人生訓の講演、中川弘さんの「フーテンの寅さん」の「売」口上の穴埋めクイズ、坂野繁さんの詩吟「春望」、富樫健三さんの民謡「最上川船唄」、着物姿の似合う伊藤正治郎さんの端唄を楽しみながら庄内料理とお酒を味わった。

最後は小原宜武さんのリードで校歌と応援歌を斉唱。あの熱き思いを胸に仲間と楽しい時間を過ごせることは、元気の源の一つと言えるだろう。「七〇、八〇は花盛り」と珊瑚の会が永遠に続くことを祈ってやまない。

36回

佐藤隆志さん
さようなら
本宮正幸

首都圏会員の佐藤隆志さんが胸腺ガ
ンで亡くなりました。二〇一二年には
脳腫瘍が完治し、ご夫婦で山・海外旅
行など元気でお過ごしでした。ご冥福
を心からお祈りいたします。

秋山郷に集まってから三年になりま
す。今年は「草津温泉の集い」を企画
しました。会報が届く頃、「ホテルお
おるり」での懇親会、白根山の散策な
ど、楽しい親睦の時を過ごしているこ
とと思います。



今年も二月に小出和子さんの「山の
絵展」がありました。新橋で恒例の遅
めの新年会。出席者はご本人と相馬さ
ん斎藤俊さん佐藤隆志さん、名古屋か
ら齋藤薫さんも参加。そして本宮です。
写真は
その時
の様子
です。
酒田の
定例は
八月一
五日に
開催。催
予定。ご
期待さ
い！

39回

酒東卒業五〇周年
渡部環一

酒東三九会の同期生二九七名のうち、平成
二六年四月一日現在の現員数は二五八名（消
息不明が一五名）で、三九名が黄泉の客。
さて、遂にとうか漸くととうか、昭和三
六年酒東入学の我々も卒業五〇周年を迎える
ことになった。太平洋戦争終戦の直前直後に
生を受けた我々が古希に届くに至ったとは！

同期会の開催順では今年も東京会場なのだ
が、大きな節目の年でもあり、全体で集まれ
るのは今回が最後かもしれないということも
あって、故郷酒田で卒業五〇周年記念会を行
うことにした。予定は次のとおり。
期日：平成二六年
一月二八日（土）
会場：ホテルリッチ
& ガーデン
会費：六五〇〇円
記念会当日は、
同期生で結成する
おやじバンドの進
化形「ブリザード」
のアトラクション
演奏も楽しみだが、
基本的にはできる
だけシンプルな形
にして、再会・語
らいを大いに楽し
む会にしたいと考
えている。



42回

いつもどこかで
談笑の輪
菅原幸夫

我ら四二回生には、定期的飲み会が
年二回ある。ひとつは、故郷酒田での
同期会。毎年八月一日に行われる。
あとひとつは東京（池袋）での同期会。
毎年三月の最終土曜日に行われる。全
員六五歳になりましたが、まだまだ青
春。若さいっぱい、時間もいっぱい。
個々の絆が強く、活動も活発です。

山の会（毎年夏の鳥海山）、ハイキ
ングの会（高尾山等）、ゴルフの会
（酒田、関東でコンペ）、ランチの会
（あっちこっち）、飲み会（横浜、山形
で）等々、いつもどこかで談笑の輪が
できている。三月二九日の東京同期会
には、室蘭、山形、酒田からも参加が
あり、総勢二九名集いました。大いに
飲み食べ、話が弾みました。話題は子
供・孫、年金等々。なかでも、頭の増
毛に成功して
る話には、多
少の疑問を感
じつつも、髪
の毛をひっぱ
ったり、皆大
笑いでした。
毎年同じよう
ではあるが、
今回も何かが
違う同期会で
した。



毛に成功して
る話には、多
少の疑問を感
じつつも、髪
の毛をひっぱ
ったり、皆大
笑いでした。
毎年同じよう
ではあるが、
今回も何かが
違う同期会で
した。

44回 「QUESTION」の発音

池田義寛



に外資系企業に三五年間勤務することに。その間、同僚の外国人との会話でこの言葉を口にすると、藤重蔵先生が頭の片隅で「チャンとやれ」と呟いているのです。

今年の「いなほ会」は二月一日新宿西口「稲田屋」で、参加者一名で行われました。鶴南「東京鶴翔会」事務局長斉藤清志君の飛び入り参加もあり、少人数ながら大いに盛り上がりました。

席上話題となったのが、酒東時代の斉藤重蔵先生(尊称「らっきょう」)の英語授業についてでした。教科書各章末の設問を読ませるのが先生のやりかたでしたが、いつも指摘されるのが「QUESTION」の発音、「クウェッシュン」と発音すると決まって「クウェスチャン」と直されるのである。その場でのやり直し練習でも、満足がいかなないと「チャンとやれ」(「クウェスチャン」と掛けて)、といつも叱られるのである。英語が苦手であった私もそのうちの一人でしたが、大学卒業後、事もあろう

45回 第二回酒東四五卒 東京同期会

伊藤重夫



会えば、一気に酒東時代にタイムスリップです。今年も一〇月に同期会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

平成二五年一〇月五日(土)、東京住友クラブにおいて、第二回酒田東四五卒東京同期会を開催しました。当日は、酒田、仙台から中村四五卒同期会会長を始め五名の方が、また、六名の初参加の方や先の総選挙で初当選された阿部寿一衆議院議員(五三卒)をスペンシャルゲストに迎え、総勢三四名での開催となりました。

中村会長、阿部代議士の挨拶、乾杯、懇談と進み、アルコールで舌も滑らかになったところで、一言スピーチをお願いしました。「〇〇さん、昔ラブレター出したけど、覚えてますか」との爆弾発言も飛び出すなど、あつという間の二時間半でした。

46回 六一歳を迎えて

丸藤 晋

還暦を過ぎ、一応、会社勤めの人の多くは定年退職しました。新たな職探しをする人もあれば、敢えて無職の悠悠自適生活を選んだ人もあり、この機会にかどうか、新たな人生をスタートした方もいます。でも一般社会から、卒業を言い渡されたような心境です。今まで、高校や大学の時は卒業が次の新たな自分のステップアップの時であり、何かウキウキする感覚がありました。小さなとき、定年退職する大人を見て、日向ぼっこ生活に入るおじいさん、というふうな目で見ていたような思いがあります。今、周りの同級生を見ると、みんな外見上も話す内容もまだまだ現役まっただ中です。実際の年齢と社会のシステムのズレがはつきりと思い知らされます。昨日までの生活の延長の転換を余儀なくされる歳であることが実感させられるこの頃です。

54回

遠方からの参加に感謝

野村桂子

東京梧葉会は一月の第三土曜日が定例になっています。始めた当初の平成一二年には三〇名の集まりでしたが、ここ数年は一〇数名の集まりで少し寂しく思っていました。六年に一度回って来る幹事。今回は二度目の幹事です。

た。たくさん集まってくれるか、みんなに楽しんでもらえるのか、いつもどきどきです。今年も心配に思っていたところ、いわき、新潟、そして酒田からと関東圏外の方三名から参加の連絡があり、大いに盛り上げて頂きました。宴会はガラス張りの個室でのネット



ル料理、エキゾチックな雰囲気の中で皆様の驚きの連続のお話を聞きながら楽しく過ごしました。酒東卒のみなさんは話題が豊富で面白い！

57回

『What's Snake?』
黒島武志東京公演！

吉田 聡

五七回生には音楽活動をやっている同期が多く、音楽仲間同士の交流も非常に盛んです。その中でも、凄腕として有名な黒島武志君率いる『What's Snake?』。黒島君がヴォーカルで、ギター一石、ベース、ドラムの五人編成で、彼らがリスベクトしているホワイトスネークの楽曲カバーをコンセプトにしているバンドです。



絶唱する黒島武志君

今年酒田でも同期会が予定されています。夏も楽しもうね。

四年に一度の大きなイベントがあり、東北地区代表として『What's Snake?』が出演しました。彼らの持ち時間は六〇分で、全国の錚々たるベテランバンドの中で初披露の曲を含め一〇曲を熱演しました。筆者は彼らの後援会長で、自身も湘南と西多摩の両方で音楽活動をやっている関係で、両地区よりプロ・アマ二〇名以上の音楽仲間が応援に駆けつけましたが、大声援に促して、堂々と最高のパフォーマンスで観客を魅了してくれました。出演したバンドの中でダントツの素晴らしい演奏だった『What's Snake?』の名前は全国に轟くことになりました。音楽活動はみんなあくまで仕事のかたわらではあります。一生取り組める趣味としてこれからもずっと楽しんで行きたいと話しています。

昨年一二月六日、両国にある老舗ライヴハウスで、全国のホワイトスネークのカバーバンドが一堂に会して競演を繰り広げ

幹事さんの報告から抜粋です。「当初一九名の予定でしたが、お仕事や急用などにより一六名での開催となりました。馴染みのある素材を使った洒落た感じのイタリアンに、さくらんぼや紅花、蕎麦などを使ったお酒、トリは内陸風の牛肉に醤油味の正統派(たぶん)芋煮と、どれもおいしかったですよ。従業員の方は山形採用だそうで、名札に出身地が併記されているので親近感もわきまくりでした。酒田出身のお嬢さんが若く可愛らしかったので、武田くんの目が心なしかキラリン☆としていたような？ 気持ちはわかります。」

62回

丸ビルでイタリアン
芋煮会

宮本健一

無二の会は、毎年三月第一土曜日が同期会の定例日です。今年の幹事は三組の佳奈子さんと葉子さん。以下は、

63回

タレント豊富な六三回

森田美佳

「せんご塾」では、同期の梅屋智紀くんが講師として、学生達に経験豊かな貴重なお話をしてくれました(写真)。そして、一昨年の講師を務めてくれた斎藤淳くんは、四月からTBSラジオに毎週水曜出演しています。

「荻上チキ Session22」という番組で、テーマは英語習得法。さらに『世界の非ネイティブエリートがやっている英語勉強法』という本も出版し、アマゾンで高評価が出ています。常に酒田・東京、時々海外と飛び回っているのに、今年中にと二冊は出したという活躍っぷりです。

また、寒河井恒くんが荘内銀行東京

支店の支店長になっていたり、女性陣も各方面でそれぞれに活躍していたり、噂を聞くだけで、なんて多種多様な同期なのだろうと思えます。



新情報収集と来年の亀城会幹事年のためにも、また関東組で集まりましょう。ネタ満載の大爆笑の同期会、楽しみにしています。

65回

盛り上がった新年会

山科範泰

年明けの一月一日に、新宿にて、新年会と同期会を兼ねた第六五期酒東卒業生の集いが行われました。都内近郊に住む有志の集まりだったので、週の真ん中水曜日にも関わらず、一三名の方が参加され、相変わらずの結束力の高さを感じました。

姿形が昔と全く変わらない方から孫がいてもおかしくない程変貌された方、新婚の方からそちらも卒業された方(笑)：まで、酒東を巣立ってから二四年の月日の間にそれぞれがそれぞれの人生を走り続けてきましたが、中身は皆あの頃のままでした。

今回残念ながら参加出来なかった方々もいますので、次回は、忘年会の

時期にでもまた集まろうと思っております。参加される方を増やしていきたいと思っております。まもなく卒業二五周年。その際は酒田で大きく同期会を行うおうという話もあります。

同期の方のご連絡お待ちしておりますので、宜しくお願いします。

74回

東京で庄内フェス & 寒鰯祭り開催

阿部彩人



昨年一月二日に、渋谷のライブハウス One's t にて山形や庄内の魅力をPRする祭典「もっけだフェスティバル in 渋谷」大音楽芋煮会」を開催した。元々私が故郷に対する「もっけだ」という思いを形にし、地元を盛り上げていくために、二〇〇八年〜一〇年まで酒田や渋谷で主催していた庄内地域おこしフェスを三年ぶりに復活しての開催。当日は、酒東同級生で「目黒ビストロさんま」店長兼料理長の高橋大介君が完徹で作った入魂の庄内味&内陸味の芋煮、つや姫のおにぎりに舌鼓をうちながら、山形に縁のあるアーティストのライブ、山形を語るトークショー、酒田ロケで撮影して酒田出身の歌手・白崎映美さんに友情出演

演いただいた庄内弁ドラマ「んめちゃ!」の上映を実施。酒東OB・OG 含め約一〇〇名が参加し盛況に終了。来てくつだ皆様、もっけだだけの。

また、今年一月二五日には、前述の高橋大介君が「ビストロさんま」にて寒鰯祭りを主催。こちらは参加者の大半を各年代の酒東OB・OGが占め、さながら同窓会のような雰囲気、まんず有意義な会だけ。

こげだ、庄内の魅力を首都圏で再確認したり、もつと広めでいぐ活動と、今後も続けていぎつでちゃ。他の地域さは同じ意味の言葉がない、唯一無二の「もっけだ」という美しい感謝の言葉をゆぐゆぐは世界共通語にしていぐために、引き続きPRしていぎつでど思う。東京亀城会に参加したときに少々残念なのが、標準語でしゃべっている人が結構いらつしやること。せつかぐ庄内出身の人達が集まる機会だんさげつて、もつと庄内弁でしゃべつてみでもいあんねがの。

もっけだフェスティバルの次回の開催はまだ未定ですが、Webサイトは「もっけだフェス」で検索してアクセスできます。庄内弁ドラマ「んめちゃ!」

はショートショートフィルムフェスティバルの「第三回観光映像大賞」に応募しており、動画もYouTubeにて公開中。「庄内弁ドラマ」で検索してどうぞご覧くださいます。



東京亀城会五〇周年記念事業に向けて

郷土や母校に恩返しを

白畑 優さんに聞く

来年、東京亀城会は発足五〇周年を迎える。記念事業のため実行委員が立ち上がった。五〇周年記念事業実行員の一人である執行理事の白畑優さん（60回卒）に抱負をうかがった。

（インタビュー・瀬尾 亜希子）

◎記念事業はどんなもの？

―東京亀城会は、郷里酒田から上京し新しい生活基盤を築き活動している酒田東高卒業生が、互いを称え合い親睦し合う同窓会。この五〇周年を機に、先輩たちの築いた東京亀城会をより発展させ、新しい観点で活性化できればと思っています。社会的な経験や篤志を披露し、後輩の自発的な発展努力精神力醸成をサポートする。旧交を温め、癒しの場であると同時に、後輩応援の会として幅広い世代が交流できる会にしたいと考えています。

◎そう考えたのは？

―私自身は早稲田大学を卒業後平成二年に銀行に入りましたが、それから四〇代半ばまで仕事と家族中心の生活で、数年前初めて酒田での酒東の同窓

会に幹事年として参加しました。卒業以来の再会でしたが、同じ学び舎で共に過ごした仲間はすぐに当時のように馴染み、垣根や肩書きなど関係なく語り合うことができ、ああ同窓会っていいなと心から思いました。

その際、同窓会のパーティの前に、我々幹事年のOB・OGが母校一年生に「キャリア研修」という形でそれぞれの仕事内容や職業観を語るグループワークがあったんです。生徒たちは目を輝かせて話を聞いてくれ、後日送って頂いた感想アンケートも語った甲斐のあるものでした。これは高校生だけではなく、大学生、新社会人を含めた後輩たちにも、同窓の先輩たちが成功談や失敗談を披露することで貢献すべきだと思っただけです。

◎これまでの懇親会と違うのは？

―五〇周年ということで、打ち上げ花火のように芸や出し物を特別なものにしようとは思っていません。むしろ、いろいろな工夫を凝らして若い世代にもたくさん集ってもらい、新たな東京亀城会の一ページを開きたい。これは、

潜在的には多くの先輩世代も思っているはずですが、馴染みある同期との交流を中心としながら、若手が先輩に話を聞けるアットホームな世代間交流会であり、異業種交流会でもある懇親会。「郷土や母校で得たことで今ある自分が、恩返しをしよう」との思いで、それぞれの経験を語る心温まる会にしたいと企画しています。

具体的な内容に関してはこれからですが、当日配布の参加者名簿に職歴（元〇〇等）と一言メッセージ（参加表明の際にもらっておく）を記載するなど、話してみたい先輩のところに行きやすくしたらどうかと考えています。幅広く参加してもらうために、企業経営の方に特別助賛金、一般の方に任意の一般助賛金をお願いするかもしれません。その折には皆様ぜひよろしくお願ひします。



白畑優さん（60回卒）

先生元気だが・母校百周年支援

傘寿に なりました

津田富巨 (29回)

いまだに授業の夢

退職後、森林浴ではなく、非常勤講師として、若者浴を浴びてきました。短大、東北公益文科大、私立高校、市立高校、そして一番長かったのは、酒田看護師専門学校の一四年間。

教師稼業の残像があり、悪夢を見ます。



還暦を迎えた47回生への挨拶

津田富巨先生元気だが

会報の編集

県の進学校活性化案がなくなり、母校の研修事業を続けたく亀城同窓会報を発行。第一号から三号まで編集長。卒業生の活躍を紹介するコーナーを担当し、また、現在まで当時の大蔵省にキャリアで入省した佐藤大さん(66回)を第一号に、昨年発行(18号)の、市立八幡病院長の土井和博さん(50回)まで二三名を紹介。基幹校の役割をしていました。

卓球部を支援

酒田市長・本間正巳さん(42回)、酒田卓球協会長・宇野直之さん(40回)OB会後援会長・開業医の桜井健さん(47回)などと一緒に、慶応大卓球部キャプテンをした現在の顧問・佐々木剛さん(68回)をOB・OGの方々と応援しています。部員たちも文武両道を目指して頑張っています。

* 母校創立百周年支援積立金特別会計

	平成23年度実績		平成24年度実績		平成25年度実績	
	金額		金額		金額	
収入	前年度繰越金	829,700	1,454,570	1,805,581		
	寄付金収入	622,000	348,000	492,000		
	利息	2,870	3,011	2,134		
支出		0	0	0		
差引	次年度繰越金	1,454,570	1,805,581	2,299,715		

注) 平成22年度における前年度繰越金233,700円は、平成20、21年度に募った母校への綴帳寄付のための資金の残金

スガワラ管理サービス株式会社 建物の清掃・設備の管理 代表取締役 菅原 幸夫 〒一七四・〇五八 坂巻大塚一三〇一九 田園キヤナル志村三〇九 電話 〇三(三五五)七五四六	元木法律事務所 弁護士 元木 徹 〒一〇四・〇〇六 東京都中央区銀座一八八一六 井町銀座一丁目七五階 電話 〇三(三五六)一九四八 FAX 〇三(三五三)三五四三 (昭和四二年卒業)	遠藤登記測量総合事務所 所長 遠藤 功 〒一九〇・〇三三 立川市錦町二丁目二番五三〇一号 電話 〇四(二五九)九三三〇 FAX 〇四(二五九)六四四〇 (昭和四四年卒業)	高橋企画・編集事務所 代表 高橋 常昭 〒一九二・〇三六 八王子市南大沢五一九一四〇六 電話 〇四(一六七)五八一九七 FAX 〇四(一六七)五八一九五 (四六回卒)	淳建築設計事務所 代表 斉藤 淳 〒二二〇・〇四二 神奈川県横浜市戸部区六二二一六 アポロビル三〇一 電話 FAX 〇四五(一三三)三〇一〇 (一一年卒)
---	---	--	--	--

学生の就職支援

第四回「ぜんご塾」

昨年一〇月一九日、「ぜんご塾」が開催されました。「ぜんご塾」とは、東京亀城会が二〇一一年から始めた大学生を対象としたキャリア支援のワークショップです。

講師は五八回卒の梅津功さん、六三回卒の梅屋智紀さんのお二人。

最初に講演いただいた梅屋さんは「社会人としてのキャリアの作り方」のタイトルで、最初に勤めた企業から現在に至るまで、ご自身のコアである「法務」を切り口にどのような観点でキャリアを構築してきたかを中心に講演。一方、梅津さんは「リーダー事業に携わって」と題し、入社以来現在に至るまでお勤めになられている企業で得られた「コア」（信念なども含）を中心に講演いただきました。



今回参加した学生二人はいずれも大学三年で、民間・公務などキャリア選択の決断をどう考えるべきかなどの質問が上がっていました。年々参加者は減少していますが、講演内容は上がっていて、昨年同様演ずる方も聴く方も満足の塾となりました。

（河島三二）

ぜんご塾に参加して

東京大学四年 金子聖仁（86回）

昨年一〇月には、私が就職活動開始直前ということもあり、酒東OBのお二人からキャリア選択で重視すべきことをお聞きすることができ、大変実りあるものになりました。特に私は公務員か民間就職かで迷っているところで、お二人とも公共性の高いお仕事を経験されていたため、両者の比較という観点から質問もさせていただき、選択する上でのヒントをいただきました。今後は、参加学生同士でお互いの考えをディスカッションする時間が設けられるとより有意義になるのではと感じました。

二五年度東京亀城会に参加して

明治大学文学部二年 佐藤絢子（88回）

昨年の東京亀城会懇親会に参加して一カ月が経った頃、同級生・第四七回卒の先輩方と肩を並べた写真が入った一通の手紙をいただきました。

それを見て、亀城会で最も印象的だったことを思い出しました。それは先輩方が高校時代の思い出話をしている時の表情です。当時の先生のことや勉強、部活のことなど話を進めるなかで段々と思いが出し、最後にはみんなで共有できる思い出になったときの幸せそうな笑顔は忘れられません。私はこの様子を見てとても羨ましく、同級生とそんな風に語り合いたいと強く思いました。そのためにも、これからなかなか会う機会がなくても、今の友情を大切に一生のものにしていきたいです。

私は一息ついてから、写真を見るたびにきつとそんな将来を夢見て今の自分の背中を押してくれると願い、引き出しにしまいました。有意義な時間を過ごさせていただいたことに感謝しています。

◆酒東柔道部後援会

東京支部総会開催

会長 今田竹彦（34回）

今年の東京支部総会は六月一日に江東区門前仲町の店で開催し、出席者は後援会本部から小山会長、土井顧問ほか三名の役員と東京支部からは会員一四名が参加しました。最近の柔道部の活動状況、会員各自の近況を報告し総会、懇親会は賑やかに進行しました。また出席者は中高年の方が多く当時の練習や厳しかった合宿等に話が弾みました。初めて参加した会員は緊張していたが、学年の近い仲間がおりすぐに場に溶け込みました。





しかし酒田本部でも柔道部員が少ない事を大変心配しており、復活には時間が掛かりそうです。支部後援会でも若い会員の参加者が少なく、青春時代に酒東で柔道を学んだことを共通の話題として多くの会員が参加できるような会にするよう努力しております。総会終了後富岡八幡宮にお参りに行き酒東柔道部後援会並びに東京亀城会の益々の発展を祈願致しました。

◆地域の魅力とは？

— 若者が地元について考える
きっかけについて —

伊原貴義 (86回)

三月に帰省した際、公益大で「地域」のことは、地域で解決しよう！第一回地(知)の拠点

円卓会議」という地域活性化イベントに参加した。Facebookで招待されて会場に着くと、多くの参加者が見られた。(後で聞くと、一三〇人以上の申込があったとのこと)。その時の主催者の方的なことが印象的だった。「集

客しなくてもみんな来ちゃうんだよね」まさにこのことが今、これからの庄内を表しているのではないか。会場は「庄内を良くしたい」という想いで溢れていた。「庄内には魅力的な人がたくさんいる」。今回、改めてそう感じた。私は東京から山形を盛り上げる団体「ヤマガタ未来ラボ」に所属している。その勉強会で先日、「地元に戻ろうと思わないのは、地元の魅力的な人を知らないから」という意見が出た。この点、前述の事実をもっと若い世代に知ってもらいたい。魅力的な「人」こそが地域資源であり、若者のUIターンや地元について考えるきっかけになるのではないか。

◆同期の『まくべっと』観劇会

俳優 佐藤 輝 (39回)

酒東同期「東京三九会」のメンバー一三名が、昨年一月三日に僕が出演中の下北沢「劇」小劇場『まくべっと』舞台公演の観劇会を催してくれた。客席最前列に陣取って僕の庄内弁のセリフに敏感に反応しながら熱心に鑑賞し、カーテンコールでは盛大な拍手で会場を盛り上げ僕を激励してくれました。終演後、皆の心がこもった洒落た豪華な花束をいただき、劇場近くで台湾料理を食べながら舞台の感想やそれぞれの近況、過去の舞台の思い出などを語り合っって楽しい時間を過ごさせてもら

いました。俳優を目指したのも同期の皆と過ごした酒東時代。卒業からちょうど五〇年、原点を思い出しながら座右の銘にしている「毎日が初日」を改めて心にしつかりと書き留めた。後日、その『まくべっと』は小田島雄志翻訳戯曲賞を受賞し、記念になる嬉しい報告をすることができた。

先輩も後輩も含めて多くの酒東関係者に支えられ応援していただいて続けてこられた俳優の道。演劇は作り手と観客が想像力を刺激しあつて心の中にイメージの世界を創り出すこと。酒東三九会メンバーは創造的想像力が豊かになっていることと思います。

三月末放送されたNHKのテレビドラマ『新・御宿かわせみ』では、沈み込んでいた宿に久しぶりに希望と明るさをもたらした常連客の葉問屋の主人として出演。

皆さんが期待してくださる限りは現



役俳優でいた、ヴォイストレーニングと体のトレニングに励んでいます。

平 田



◇ひらた植木まつり

今年で25回目となる「ひらた植木まつり」は、毎年6月15日から17日までの3日間、平田総合支所前のイベント広場を会場に開催しています。

会場には、もみじや松などの庭木、ブルーベリーやブドウなど果実系の苗木、ハイビスカスやラベンダーなどの花苗があります。ここでご紹介したほかにもたくさんの種類が販売されています。会場一面に並べられた庭木や花苗は、きれいで眺めるだけでも楽しめると思います。

また、山形県の庄内地方庄内町(旧余目町)で生み出された希少な品種「庄内金魚」のお店も出店しています。

上記以外にも、地域商工業者の出店や各種イベント、空くじなしの抽選会などを行っています。

この時期に酒田にお出での際は、ぜひお寄りください。

(平田総合支所 建設産業課)

八 幡



◇鳥海山登山、トレッキングをどうぞ

山形日和と題して、6月14日から9月13日まで山形全県でデスティネーションキャンペーンを実施する。酒田市でもそれに参加し、八幡地域でも19カ所の見どころをそろえお迎えする。鳥海山の麓八幡の売りは豊かな自然を体験してもらうこと。5月18日の鶴間池の新緑トレッキングに始まり、25日には旅行村周辺のブナトレッキングがある。期間中の6月29日には鳥海山湯ノ台口山開きと登山がおこなわれ、鳥海山の登山シーズンが始まる。この後、山頂パノラマコース、ご来光・影鳥海コース、紅葉リラックスコースと10月までさまざまなコースを用意し健脚から初心者まで対応している。酒田出身でまだお山に登っていないあなた、トレッキングにご参加ください。詳しい日程は市のホームページからどうぞ。

(八幡総合支所長 佐藤 弥)

松 山



◇松山中が63年の歴史に幕

松山中学校が閉校しました。3月21日には同校において、生徒のほかに地域住民も出席し閉校式が行われました。

同校は昭和26年、内郷村、松嶺町、上郷村による組合立中学校として開校し、これまでに7,200人以上の卒業生を送り出しました。式では同校出身者の衆院議員の阿部寿一さんとプロ野球楽天の下妻貴寛さんから閉校を惜しむ電報も披露されました。少子化が進む中、よりよい教育環境の確保のためにはやむをえないものの、母校が閉校することには寂しさを感じます。

4月には飛鳥中と統合し、旧飛鳥中の位置に「東部中学校」が誕生しました。

今後、東部中の発展を期待する一方、松山地域では、活気ある地域づくりが大きな課題となっています。

(松山総合支所地域振興課 石川亮一)

<p>昭和二八年卒 酒田東・西高校</p> <p>東京二八会 会長 前田 滋</p> <p>事務局 松戸市小金原七十一一二 五十嵐 昌士 ☎〇四七―三四五一〇八四</p>	<p>(有) 工房庄内 一級建築士事務所</p> <p>丸藤 晋 (四六回卒)</p> <p>〒九九八・〇八四三 山形県酒田市千石町一七二八 電話 〇三三四(二五)八二五〇 FAX 〇三三四(三三)二八〇〇</p>	<p>丸藤宏司法律事務所</p> <p>丸藤 宏 (昭和四〇年卒業)</p> <p>〒一〇一・〇〇五五 東京都千代田区神田神保町二二〇 アイエムビル3F 電話 〇三三二六(二六)八〇四三 FAX 〇三三二六(二六)八〇四三</p> <p>相川・田中法律会計事務所 弁護士 相川 俊明 (昭和三三年卒)</p> <p>東京都新宿区四谷一―九 有明家ビル6F 電話 〇三三三五(三四)六三三八 FAX 〇三三三五(三四)四三三八</p>
---	---	--

酒田



◇今年の夏はDCでおもてなし

DC（デスティネーションキャンペーン）をご存知でしょうか。JRが地元自治体等と協働で実施する大型観光キャンペーンのことで、今年は6月14日から9月13日まで山形県全域で展開します。

本市でも、この機会に全国の皆様に「酒田」を発信しようとするさまざまな趣向を凝らし、観光誘客に取り組めます。

今回の取り組みでは、市民総参加型の招待ハガキキャンペーンを実施します。ハガキ用紙を市内全戸配布し、市民一人ひとりが県外の友人、知人、親戚にハガキを送り酒田に招待する試みです。

東京亀城会の皆様のお手元にハガキが届いた際には、この機会に是非、お誘い合わせの上おいでください。

ふるさと酒田も全国の地方都市同様、人口減少・少子化の課題は深刻です。本市としても人口の「自然減」対策として結婚支援施策の充実や、「社会減」対策としての市内企業への就業後押し施策などに積極的に取り組んでいきます。

しかしながらもう一つの柱として、「交流人口の拡大」も重要です。

酒田の魅力を全国に発信し多くの皆様に訪れていただくために、DC期間中は市内観光地を巡る循環タクシーの運行や様々な企画をご用意し、おもてなしの心でお待ちしております。

この夏、懐かしいあの人に会いに来ませんか。

（酒田市市民部長 本間匡志）

遊佐



◇遊佐パーキング・エリア・タウン

日本海沿岸自動車道の建設が急ピッチで進んでいます。昨年、酒田みなと一仮称・遊佐鳥海IC間も着工。秋田県境区間「遊佐一象潟道路」の新規事業化も決まりました。

遊佐町では、仮称・遊佐鳥海ICに休憩施設（PA）整備する『遊佐パーキング・エリア・タウン構想』を一昨年に策定しました。コンセプトは、一般道からも地域住民が自由に入出入りできる地域利用型施設であること、地場産品の直売施設や再生可能エネルギーの供給基地であること。さらには、自然災害に備えガソリン給油所、充電器や緊急車両用の軽油を供給できる防災基地であり、鳥海山の観光ゲイトウェイとしての機能を備えることとしています。全線開通の暁には、町がただ素通りされるだけのゴーストタウンにならないよう、地元自治体として地域活性化の道スジを立てることに全力を挙げてまいります。

（遊佐町企画課長 池田与四也）

東京亀城会会報第三四号

- 発行 二〇一四年五月二〇日
- 発行者 相川俊明
- 編集人 元木 徹
- 編集 瀬尾亜希子
- 発行所 東京亀城会
- 東京都中央区銀座一丁目一八―六
- 井門銀座一丁目ビル五階
- 元木徹法律事務所内
- 問合せ 高橋常昭
- ☎〇四二・六七五・八〇九七
- ☎〇四二・六七五・八一九五

昭和三三年卒
酒田東高校

東京燦燦会

- 代表 相川俊明
- 連絡先 阿部尚記
- TEL/FAX
- 〇三一九四八―三九〇

酒東昭和三二年卒業
東京亀城会総会で会いました。六月二八日
関東三一会総会に参加しよう。(二月)

関東三一会

- 有志一同
- 連絡先 眞田 守之
- 自宅 (〇四二七四六一〇八九

昭和二九年卒
酒田東・西高校

東京ふくの会

- 連絡先 本間 英生
- 自宅 〇四八〇(三三)四〇三七

平成26年度 総会・懇親会のご案内

縁ある場所へ集い来たれ

今年の総会は末尾が「九」のつく卒業年度が当番幹事です。イベントは二九回卒業の「ふくの会」のコーラスです。年齢を超えた豊かな歌声を「期待ください」。

さて、会場の場所について少し。この辺りは明治維新まで「庄内藩の上屋敷」があり、その南隣がサンケイブラザになります。隣ということで、鶴岡と酒田の距離感も含め、不思議な縁を感じます。形は見えなくとも、かたや江戸時代からの歴史があり、また母校も一〇〇周年まで六年、さらに東京亀城会は発足から来年で五〇周年を迎えます。

東京亀城会総会について、相川会長が書かれた文を引用してご案内いたします。

「ふるさとの学び舎への思いは消えるもので無く、いつの日か母校の集まりに行きたいなあと考えた時に、そこに『ある』ことが大切です。そのために皆で維持し続け、また、常にその存在を知らせておく必要があります。それが会報であり、人集めであり、この度の総会の意義でもあります。」

皆様のお越しをお待ちしております。

(当番幹事49回 石山尚徳)

平成二六年度総会・懇親会のご案内

- ◎日時 六月二十八日(土) 一三時より
- ◎会場 大手町サンケイプラザ三階ホール
- ◎電話 〇三三三三三二二五八
- ◎懇親会費 会員 八、〇〇〇円 学生 二、〇〇〇円
- ◎酒類の持ち込み可
- ◎イベント 「ふくの会」コーラス



■地下鉄 丸の内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線
 ■J R 大手町駅下車A4・E1出口直結
 東京駅丸の内北口より徒歩7分

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2
 Tel:03-3273-2257~9 (直通)

<p>酒田東高等学校 昭和三六年卒業 酒田東高卒 東京三四年卒</p> <p>有志一同</p> <p>山麓会</p> <p>我が集う ここにあり、集まろう 毎年八月一日 於ベルナール酒田</p>	<p>酒田東高等学校 昭和三五年卒 酒田東高卒 東京三四年卒</p> <p>有志一同</p> <p>東京珊瑚の会</p>	<p>酒田東高等学校 昭和三四年卒 酒田東高卒 東京三四年卒</p> <p>有志一同</p> <p>東京三四会</p>	<p>EPSON EXCEED YOUR VISION</p> <p>EPSONブランドを支えるもの 最先端テクノロジーと ものづくりへの熱いまなざし</p>  <p>東北エプソン株式会社 酒田市十里塚166-3 Tel.0234-31-3131 (代) http://www.epson.jp/tohokuepson/</p>
<p>BIPOS バイポス</p> <p>美しさを伝えます！ コストダウンでサポート</p> <p>汎用機・WS・PC・WPのデータを自在に編集・加工 オンデマンドシステムで対応 情報処理のビジュアル化をフルサポート 最短の時間と最小のコストをお約束</p> <p>印刷の事なら 株式会社 文栄社</p> <p>〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-15-4 ☎(03)3662-1951 FAX(03)3661-9735 http://www.bbe.ne.jp E-mail:bunei@bbe.ne.jp</p>	<p>酒田東高等学校 昭和五四年卒 酒田東高卒</p> <p>連絡先 阿部浩美 電話 〇四八(四六七) 二三八二</p> <p>梧葉会</p>	<p>酒田東高等学校 昭和四六年卒 酒田東高卒</p> <p>連絡先 高橋常昭 電話 〇四二(六七五) 八〇九七 FAX 〇四二(六七五) 八一九五</p> <p>酒東「巽」会</p>	